

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第129号

「結果発表！」

2024年6月10日

今回のカタカタ通信では、繁殖期前の準備段階から現在までのコウノトリの様子を振り返ってみます。

去年の6月頃から換羽が始まり、順調に羽が生え変わっていきました。例年花は食欲が低下する時期ですが、この夏はよく食べてくれました。

今年の1月に入ってから、繁殖に集中してもらうため、観察スペースのブラインドを下げ目隠しを開始しました。1月下旬には、コウノトリたちも巣材を良く運んでいました。



エサを探す空



巣材を運んでます！



目隠しから覗いた様子①



目隠しから覗いた様子②

2月の積雪では、大雪を危惧して天井がしっかりしている小ケージに移動し、一晚を過ごすこともありました。

4月は、擬卵を置きました。空（♂）は、昨年同様抱卵していましたが、花（♀）はあまり抱卵せず、擬卵を落としてしまうこともありました。

そして5月に入り、巢台の場所を花が好きな位置へ移動してみました。すると2羽でたくさんの巢材を運びます。最後のチャンスと期待していましたが、よく見ると、一つの大きな巢に内巢（ないそう）が2つ。2羽の気持ちは1つにはならなかったのかもしれませんが。現在は、換羽が始まり繁殖期もう終わりです。仕切り直して次のシーズンへ続いていきます。



雪の日の2羽



擬卵を抱卵中



ワラをしきつめた内巢が2つ



天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい